



めくってみると・・・



中学校での勉強が不安。英語も始まるし、どんなふうに勉強したらいいんだろう・・・



教科ごとに  
目標、特徴、授業形態、学習の仕方などが記載されています。家庭でどのように学習を進めていっていいかわかります。

「シラバス」は高校や大学などで使用されている授業の計画書です。本校では入学して間もない12歳の生徒にも読んで理解できるように平易な文を心がけて作成しました。

最初のページに「シラバス」についての説明と「シラバス」によって期待される学習意欲や授業改善の詳細が載っています。

また教師がどのような視点でよりよい授業を目指そうとしているか12項目に渡って述べています。

テストの前だけ猛勉強するのではなく日頃からきちんと時間をとって勉強して確実な学力を身につけて欲しい。



理 科	2 年
<b>目標</b>	
自然に対する関心を高め、目的意識を持って観察・実験を行い、科学的に調べる能力と態度を育てるとともに、自然の事物・事象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。	
<b>教科の特徴</b>	
実験や観察をもとに上の目標を達成する教科です。理科室を使用します。日頃から自然界の不思議さに目を向け、疑問を持つことが重要です。	
<b>学習上のアドバイス</b>	
目的意識を持って実験や観察を行うこと。その結果から科学的に自然現象を理解することが大切です。どうしてこういうことがおきるのだろうか、似ている点はどこだろうなど、考え、予想し、実験、観察を行います。実験の結果から、自分の予想と異なる点や同じ点を探し、自分の考えをまとめていきます。「実験をやった。おもしろかった。」では、作業をただで「理科」ではありません。	
<b>授業形態</b>	
実験中心の単元、教室での講義とノート記入、調べ学習を行う単元、実習活動を行う単元など様々です。 実験等の班は、教室とは異なります。学習に最適な班を先生が作ります。	
<b>その他</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験等は、家でできないものもあります。授業が勝負です！</li> <li>・予習は、ふだんは必要ありません。授業があった日は、復習を必ず行ってください。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教科書のその日に学習したページを、声を出して読む。(2回)</li> <li>2 家で復習するためのノートを別に用意し、読んだページに出てきた重要語句を10回書く。</li> </ol> <p>復習用のノートに、授業でやったことをまとめると、GOOD！</p> <p>語句テストは2回行います(同じテスト) → 知識・理解。 到達度確認テスト → 科学的な思考、実験観察の技能。 ポスター、レポートの内容 → 実験観察の技能・表現。 授業の取り組み(真剣さ、発言、積極性、私語、ワークシートやレポートの書き込み具合) → 関心・意欲・態度。</p>	

各単元の「学習内容」と「この単元で身につけて欲しい力」が載っています。教師はこれに沿って授業を進めていきます。授業の始めに「その日の授業の目標とつけた力」を提示します。これを聞き逃すと何をしていたかわからなくなりますよ！授業が終わったとき、その日の目標が達成できたか確認しましょう。授業ごとの目標が達成できていればよいのです。各単元には評価の方法も示されています。授業中も評価活動は行っています。

- 評価は4観点です
- 関心・意欲・態度
  - 思考・判断
  - 技能・表現
  - 知識・理解

- 国語だけは5観点
- 関心・意欲・態度
  - 話す・聞く
  - 書く
  - 読む
  - 知識・理解

観点を総合的に判断して評定(5～1)をつけます。





シラバスから一部  
抜粋しました。

学習内容と進度、つ  
けたい力が記載され  
ています。( )の  
中は覚えるべき語句  
です。

つけたい力や重要語  
句は、授業の様々な  
学習活動※を通して  
身につけます。身に  
ついたかどうか、小  
テストや語句のテスト、到達度確認テストを行います。\*

### 様々な学習活動

- ・読む
- ・書く
- ・調べる
- ・考える
- ・討論する
- ・実験する
- ・作る
- ・まとめる
- ・発表する
- ・質問する
- ・体で表現する
- ・問題を解く

「覚える」だけが  
「学習」ではありません。これからの学習は討論や発表活動を重視します。

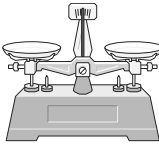


## 単元名

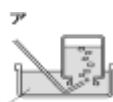


## 身のまわりの物質

### 単元目標

- ・身近な物質を性質や状態変化等によって分けることができる。
- ・様々な物質の性質や変化の調べ方の基礎を身につける。

進度	題材・学習内容等	つけたい力
10月	第1章 身のまわりの物質とその性質 ・身のまわりの物質はどんなものでできているのだろうか？ ①物体を区別する方法を考えよう ②金属と金属でないものを区別してみよう ③金属の種類を区別してみよう ④白い粉末を区別してみよう(味をみたりさわったりしないで区別する) ⑤気体を区別してみよう . . . . . 	・物質を区別するときの調べ方を知る。 (観察、質量、熱する、電気を通す、溶かす、薬品との反応) ・金属が持っている共通の性質がわかる。 (金属光沢、非金属) ・密度の意味がわかる。 ・上皿てんびん、ガスバーナーが使えるようになる。 ・有機物と無機物の違いを理解する。 ・気体の調べ方を知る。 ・気体を集める実験ができる。 ・気体の性質を言える。 (酸素、二酸化炭素、窒素、水素、アンモニア、水上置換、上方置換、下方置換) . . . . .
	学習形態 評価の方法	・実験とまとめ ・ワークシート記入 ・先生の説明を聞く ・実験の様子 ・ワークシートの内容 ・ポスター ・語句テスト ・単元テスト 思 枝 知

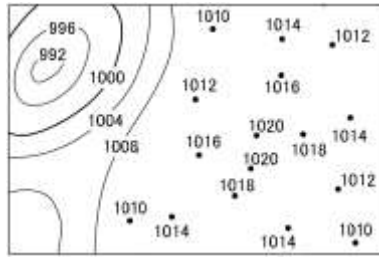
### 「身のまわりの物質」重要語句テスト

- 1 金属に共通した性質を3つあげましょう。  
① \_\_\_\_\_  
② \_\_\_\_\_  
③ \_\_\_\_\_
- 2 物質1 cm<sup>3</sup>あたりの質量を何と言いますか。④ ( )
- 3 炭素を含む物質を何と言いますか。⑤ ( )
- 4 気体を水と置きかえて集める方法を何と言うでしょう。⑥ ( )
- 5 水にとけやすく空気より重い気体を集めるのは図のどの方法ですか。正しい記号に○をつけましょう。  
⑦   
- 6 アンモニアはどのような性質をもっていますか。正しい記号に○をつけましょう。⑧  
ア 空気より重い。 イ 水によくとける。 ウ においはしない。
- 7 食塩水の溶質は何でしょう。⑨ ( )
- 8 物質がもうそれ以上とけきれない水溶液を何と言いますか。⑩ ( )
- 9 8の時の物質の質量を何と言いますか。⑪ ( )
- 10 8の水溶液の温度を下げるととけきれない物質が出てきます。これを何と言いますか。⑫ ( )

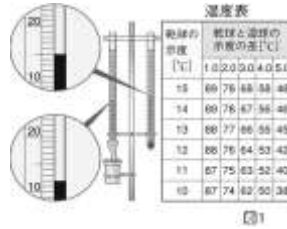
理科で行われる  
語句テスト

到達度確認テストの例

1 図1は気圧が等しい地点を結んだ曲線です。足りない曲線を3本書き込みましょう。(技能)



2 図1は湿度をはかるために用いる器具です。左側の温度計(湿球)はガーゼが巻き付けられ、キャップの中には水が入っています。水はガーゼを通じて球部まで上がります。



- ① 器具の名前を書きましょう。(知)
- ② 湿球は乾球に比べて温度が低いです。理由を下から選び記号で書きましょう。  
 ア 球部まで上がった水が蒸発し熱をうばうから。  
 イ 球部まで上がった水で球部が濡れるから。  
 ウ 球部まで上がった水の温度が冷たいから。(思)
- ③ 湿度は何%ですか。(思)
- ④ 乾球と湿球の温度差が大きいと湿度はどうなりますか。次から選び記号で答えなさい。  
 ア 高い イ低い ウ 関係ない ( ) (思)
- ⑤ 乾球と湿球の温度差がない(0°C)とき、湿度はどうなりますか。次から選び記号で答えなさい。ア 高い イ低い ウ 関係ない ( ) (思)



理科評価カード 理科担当 中村 章子 2年 組 番氏名

	観点	評価の材料	つきたい力	評価		
				A	B	C
電流	自然現象への関心・意欲・態度	授業への取り組み(私語がない、姿勢がよい、先生の話をしっかり聞く、進んでいない)、レポートの提出、ノートをとる、話し合いへの参加、発表、自己評価プリント等をしっかり書く	各授業で出される課題に意欲的に取り組む			
	科学的な思考	話し合いの深まり、レポート考察、到達度確認テスト6/23	実験結果から自分の考えを導き出せる。 思考力を見る問題を解くことができる。			
	観察・実験の技能・表現	実験の様子、レポートのまとめ方、実験器具の操作、到達度確認テスト6/23、ポスター	電流や境界を調べる実験を行うことができる。 実験レポートやポスターをまとめる。 実験器具の基礎操作に関する問題を解くことができる。			
	自然現象についての知識・理解	授業での理解の様子、小テスト、到達度確認テスト6/23	重要語句の意味を理解し覚える。 知識・理解の程度を見る問題を解くことができる。			
動物の世界	自然現象への関心・意欲・態度	授業への取り組み(私語がない、姿勢がよい、先生の話をしっかり聞く、進んでいない)、レポートの提出、ノートをとる、話し合いへの参加、発表、自己評価プリント等をしっかり書く	各授業で出される課題に意欲的に取り組む			
	科学的な思考	話し合いの深まり、レポート考察、到達度確認テスト9/14	実験結果から自分の考えを導き出せる。 思考力を見る問題を解くことができる。			
	観察・実験の技能・表現	実験の様子、レポートのまとめ方、実験器具の操作、到達度確認テスト9/24、ポスター	観察や実験を適切に行うことができる。 実験レポートやポスターをまとめる。 観察や実験操作に関する問題を解くことができる。			
	自然現象についての知識・理解	授業での理解の様子、小テスト、到達度確認テスト9/24	重要語句の意味を理解し覚える。 知識・理解の程度を見る問題を解くことができる。			
化学変化と原子・分子	自然現象への関心・意欲・態度	授業への取り組み(私語がない、姿勢がよい、先生の話をしっかり聞く、進んでいない)、レポートの提出、ノートをとる、話し合いへの参加、発表、自己評価プリント等をしっかり書く	各授業で出される課題に意欲的に取り組む			
	科学的な思考	話し合いの深まり、レポート考察、到達度確認テスト11/24と1/13	実験結果から自分の考えを導き出せる。 思考力を見る問題を解くことができる。			
	観察・実験の技能・表現	実験の様子、レポートのまとめ方、実験器具の操作、到達度確認テスト11/24と1/13	実験器具を適切に扱うことができる。 実験レポートをまとめる。 実験器具の扱いに関する問題を解くことができる。			
	自然現象についての知識・理解	授業での理解の様子、小テスト、到達度確認テスト11/24と1/13	重要語句の意味を理解し覚える。 知識・理解の程度を見る問題を解くことができる。			
天気とその他	自然現象への関心・意欲・態度	授業への取り組み(私語がない、姿勢がよい、先生の話をしっかり聞く、進んでいない)、レポートの提出、ノートをとる、話し合いへの参加、発表、自己評価プリント等をしっかり書く	各授業で出される課題に意欲的に取り組む			
	科学的な思考	話し合いの深まり、レポート考察、到達度確認テスト2/24	実験結果から自分の考えを導き出せる。 思考力を見る問題を解くことができる。			
	観察・実験の技能・表現	実験の様子、レポートのまとめ方、実験の基礎操作、到達度確認テスト2/24、ポスター	観察・実験を丁寧にすることができる。 実験レポートやポスターをまとめる。 観察・実験に関する問題を解くことができる。			
	自然現象についての知識・理解	授業での理解の様子、小テスト、到達度確認テスト2/24	重要語句の意味を理解し覚える。 知識・理解の程度を見る問題を解くことができる。			

	7月	前期	12月	校長印
評価 印				

評価カードの例です。

第I観点などはテストより授業中の取り組みの様子で評価します。第III観点も授業中の学習活動を基に評価します。第II、IV観点の評価は到達度確認テストの比重が大きくなります。

おおむね満足できると判断すればB、十分満足できると判断できればA、努力を要すると判断されるものをCとします。Cの生徒には補充学習や個別学習を行います。

評定(5~1)は、観点別学習状況の評価(A~C)を総括したものです。第I、III観点は日頃の学習活動の様子から評価が決まります。テストの得点がよければ5の評定になるわけではありません。